



3月議会 笹田トヨ子議員

競輪事業の見直しを提言

3月19日、3月議会が終了しました。今議会は平成16年度予算案をはじめ35議案が審議され、共産党笹田議員は、「一般会計予算案」と「競輪事業会計予算案」に反対し、一般会計予算案の反対討論を本会議で行いました。

競輪開催により地域の環境悪化

自転車競技法施行規則第15条（許可の基準）では「学校その他の文教施設及び病院その他の医療施設から相当の距離を有し、文教上又は保健衛生上著しい支障を来たすおそれがないこと」となっています。

大垣の競輪場の隣は東小学校で、競輪開催日は交通渋滞やこどもの下校など、地域の環境上様々な問題が指摘されています。小学校に隣接しての設置は通常許されません。

競輪事業は年々減収

大垣けいりんは昭和27年に開設され、戦後復興に一定の役割を果たしましたが、近年車券売上金額は年々減ってきており、一般会計への繰出金はここ10年間の推移を見ると最高時の10分の1以下になっています。

平成12年から周辺の自治体も競輪事業から撤退し、今では大垣市のみとなっています。また全国の自治体の中には競輪事業が赤字で、一般会計の足を引っ張る存在になっているところもあります。

平成16年度 一般会計へ3億円

全日本選抜競輪が開かれ、例年より100億円ほど多い287億5100万円の収入が計上されています。一般会計へは3億円の繰出しを見込んでいます。

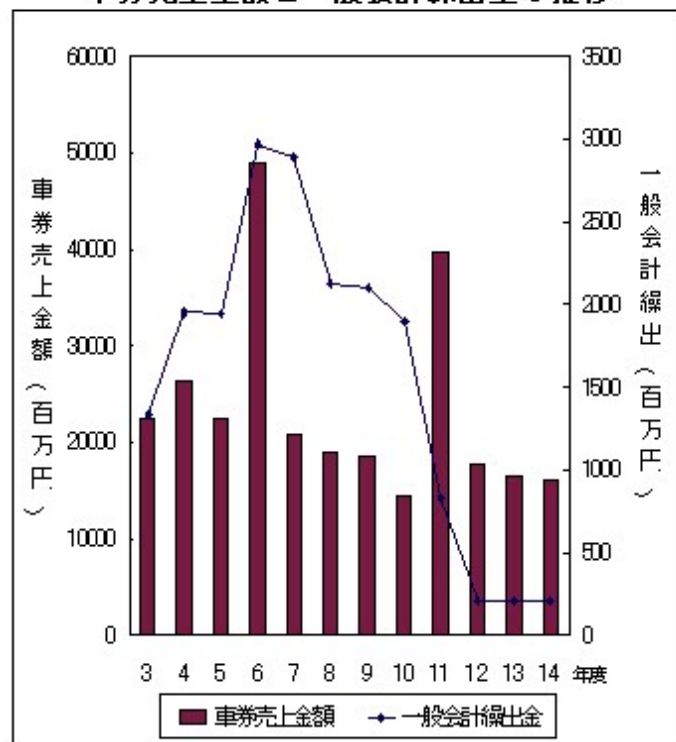
収 入		支 出	
車券販売収入	28,200,000	一般管理費	87,100
その他	551,000	競輪開催費	28,983,900
		一般会計繰出金	300,000
合 計	28,751,000	合 計	28,751,000

競輪開催費の主なものは、私戻金が211億5000万円、全国競輪施行者協議会負担金4億7892万円、公営企業金融公庫納付金3億2280万円、全日本選抜場外事務協力費4億円、日本自転車振興会交付金8億6480万円です。

公営ギャンブルにたよる市財政は止めよう

最近の競輪は益々ギャンブル性が強くなっているといわれています。地域環境の悪化など負担が大きくなっている競輪事業をこの際きっぱりと止めてはどうかと、競輪事業会計の予算案に反対しました。

大垣競輪場
車券売上金額と一般会計繰出金の推移



スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ

TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/> e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp

平成16年度 一般会計予算案に対する 反対討論

小泉内閣は国の財政赤字を地方自治体や住民にしわ寄せし、地方交付税の大幅削減を行いました。本市も地方交付税15.7%削減という大変厳しい予算編成を強いられています。だからこそ、平成16年度予算が住民の生活防衛を重視したものかどうかが問われます。

本市の16年度予算の特徴を見ると、「議員の海外視察費」や「住基ICカード多目的推進事業」など無駄使いと考えられる事業や「学校LAN事業などIT関連事業」や「大垣駅周辺鉄道高架事業の可能性調査」など、あえて今行う必要はないのではないかと思われる事業があります。ま

た、教育・福祉よりIT関連予算を重視した予算配分になっています。

合併では「子育て日本一」を高らかにかけましたが、周辺自治体と比べても、子育て支援策では遅れを取っています。また、経済が上向き傾向にあるといわれますが、市民の生活実態はまだまだ実感できない状態にあります。本当に、住民が元気になるまちづくりを行うのであれば、それが予算案に反映されてしかるべきだと思います。

以上の理由で平成16年度一般会計予算案に反対いたします。

